



報

# なまじん

村章

1988年

11月

No. 156

毎月1日発行



## 古宇利架橋建設促進村民総決起大会

大会は参加者で会場の古宇利小中体育館を埋めつくし、架橋の早期実現をうったえた。

今帰仁村の人口

昭和63年9月30日現在

世帯数

3,000(+2)

男 女  
4,832 4,879  
(+4) (+5)



人口 9,711(+9)

### 大会スローガン

- 一、離島苦はもうごめん、夢の架橋が現実の架橋となるまで全村民一丸となって頑張ろう！
- 一、古宇利島の産業の発展と福祉の向上のため、架橋の早期建設を旨し、団結して頑張ろう！
- 一、架橋なくして古宇利島の夜明けはあり得ない。活力ある島の実現に全力をあげ邁進しよう！
- 一、古宇利架橋の早期実現に村民の総力を結集し強力な運動を展開していこう！

# 学力向上対策地域懇談会

お知らせ

日時 昭和六十三年十一月十九日(土)  
午後二時から五時まで  
場所 村コミュニケーションセンター

—おとうさん、おかあさん、そして村民の皆さんぜひ参加して下さい—

1「学校、家庭、地域が一体となった学力向上対策」をあい言葉に、児童生徒の学力向上の取り組みを強化するため、広く意見交換を行うために開かれますので、多数の村民の参加をよびかけます。

1 テーマ  
「児童、生徒の学力向上をどのように図るか」

—学校、家庭、地域の役割—

2 ねらい  
本県学力向上対策の具体化の一環として「地域懇談会を開催し、広く意見交換を行い、県民総参加で学力向上対策を展開することを目的とする。

3 共催  
村教育委員会、県教育委員会、その他県内の各教育関係団体

4 後援  
県内のマスコミ各社

育てよう！  
伸ばそう！  
地域の子どもたち

# 古宇利架橋

## 早期建設の要請を決議

### 古宇利架橋建設要請決議

国、県におかれましては、離島振興法制定以来、離島振興に格別の努力を払われ多くの架橋建設など、離島苦の解消にご尽力されていることに深く敬意を表する次第であります。

古宇利島は、今帰仁村の北東約1.5km（運天港より2km）に位置し、周囲7.9km、面積2.99km<sup>2</sup>の円形状の島であります。地質は隆起石灰岩から形成され、島における特異な自然景観がみられ変化に富んでおります。島の南岸線にかけては海蝕の崖状を呈し、海岸線東側には島特有の白い砂浜などがあり、レクリエーションにも好適な条件を備えた人口401人（63年9月現在）を有する自然環境の素晴らしい風光明媚な島であります。

島の主な産業は農漁業で、恵まれた環境を生かし産業振興と島の活性化をはかっているところではありますが、離島であるという自然的、地理的条件の厳しさのなかにあって、産業経済・医療・教育文化等の各分野において格差は依然として大きいものがあります。さらに、近年若年層の流出や人口の高齢化が進み過疎化が進行している現状にあり、快適で豊かな地域を確立することが緊急な課題であります。

このような地域を整備していくことは容易なことではなく、本島との地域格差を是正し、豊かで快適な島民生活と自立発展を可能にするには、架橋による本島との一体化によってしか解消はないものと考えられます。古宇利架橋の建設については全村民の願望であり、また村政の最も重要な課題でもあります。なにとぞ現地の実情を御斟酌下さいまして1日でも早く架橋の実現ができますよう要請致します。

上記のとおり決議する。

昭和63年10月15日

今帰仁村古宇利架橋建設促進  
村民総決起大会

# 建設促進村民総決起大会

「格差是正は本島一体化以外になし」



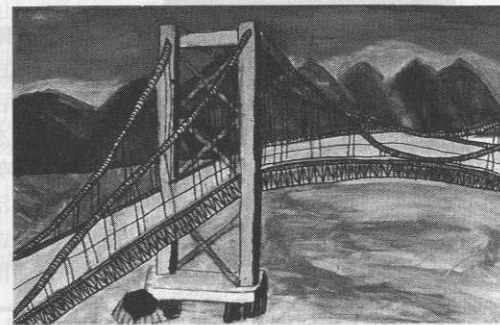
▲ 架橋の早期実現をめざし「ガンバろう三唱」をする参加者たち

夢の架け橋を早く現実のものに——と  
古宇利架橋建設促進村民総決起大会が十月十五日午後一時から古宇利小中学校体育館で開かれ、橋の早期実現を求めて要請文を決議。県や関係省庁へ強く訴えていくことを決め、夢の架け橋が現実のものになるまで、村民一丸となって頑張っていくことを確認しあった。

この大会は、今年八月に結成された今帰仁村古宇利架橋建設促進協議会（会長 上間博安村長）の主催で開かれ、古宇利島の人々や本島側から村議をはじめ村の各行政委員並びに婦人会、老人会など各団体を含め四百人余が参加、架橋建設の機運を盛り上げた。

「村民の総力で古宇利架橋の実現を」と染め抜いたそりの鉢巻を締め、熱気をみなぎらせている参加者を前に、主催者を代表してあいさつした上間村長は「架橋建設によって離島苦が解消されるばかりでなく、観光や農林水産業など経済面でも大きな効果が期待できる。夢の架け橋と言われた瀬戸大橋を完成させた現代の技術をもってすれば技術的に問題はない。古宇利島を早期に離島でなくするために、全村民一丸となって頑張ろう」と力強く訴え、万雷の拍手で大会を盛り上げた。また、意見発表では、児童を

▼ 古小4年、福利香子の絵「希望の橋」



代表して玉城健司君（古宇利中一年）が「学校を存続させるためにも橋をかけて」と訴え、婦人を代表して与那嶺嘉代子さんが「文化、教育、生活など古宇利の発展のためには橋は不可欠」と、さらに喜納一区長は「古宇利架橋の建設なくして離島苦解消はありえない」と断言。村議代表の嘉陽宗敬議員は「村と島の発展のために橋は絶対に必要だ」と意見を述べた。  
ひきつづき決議文とスローガンを満場一致で採択。松田幸福前村長の音頭で「がんばろう」を三唱し気勢を上げた。  
なお、同橋の建設について、北部市町村長会や県町村議会議長会などでも県や関係省庁に早期建設を要請している。

# 運天漁港本格整備始まる

## 総事業費十四億円

### 昭和七十二年度完成の予定

★運天漁港が本格的に整備されることになり、八月十八日に着工された。国★

★の第八次漁港整備計画で八億円、第九次漁港整備計画で六億円を投じる計★

★画になっており、昭和七十二年度に完成の予定。.....★

現在の運天漁港は、船揚げ場延長三十メートル、防波堤八十メートルであるが、船の大型化や漁法の近代化などに対応できなくなった。したがって、村では漁業の振興をはかり、漁民の生活の安定と漁業振興による

他産業への相乗効果を図るため補助事業によって本格的に整備を充て進めることにしている。新しく整備される漁港の規模は完成予想図と表1のような本格的な施設。平良正男今帰仁漁協長は「漁港の整備を機に組合

員の一致協力若者にも魅力ある漁業の推進を図っていききたい」と大きな期待を寄せている。地域の漁業形態は、刺し網、一本釣り、ウニや貝の採取を主とした沿岸漁業で、運天港を利用している漁船は六十二年十二月三十一日現在五十四隻（総トン数五十九トン）で年間百五十

安全を祈願、鍛入れをする上間博安村長と平良正男漁協長、施工業者の喜屋武国男社長

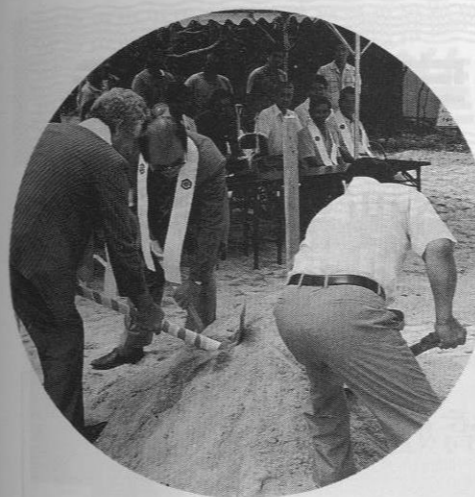
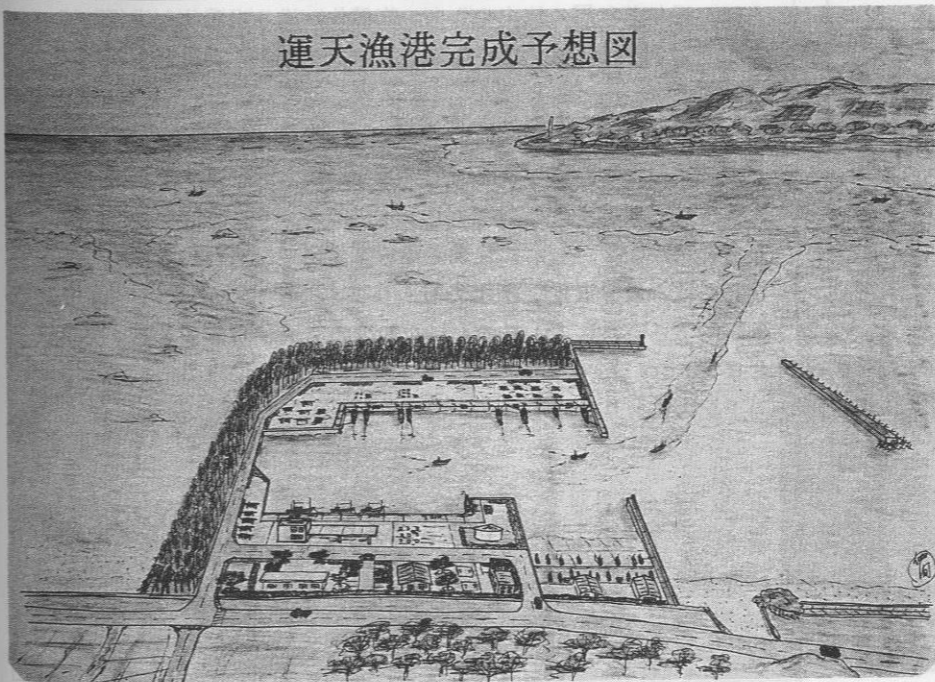


表1 新漁港の規模

防波堤	50m
護岸	626m
波除堤	64m
浚渫	45,500m <sup>2</sup>
けい留施設物揚場	240m
船揚場	60m
輪港道路	1,000m
うめ立用地面積	26,500m <sup>2</sup>

運天漁港完成予想図



九トン、金額にして一億八百万円の海産物を水揚げしている。本格的に整備が終了する七十二年以降の水揚げは百六十三トンの目標が設定されていて、ウミンチュたちは完成を心まわしている。

昭和七十二年にはこのようなすばらしい漁港に:

六十三年度の初年度工事は、有限会社武国建設（喜屋武国男代表者）が七千六百万円で落札九月二十四日に工事関係者や漁協関係者、地元区民、上間博安村長らが出席して工事安全祈願が行われた。

# 牛枝肉部門で村から優秀賞一・二席

## 第十四回沖縄県畜産共進会



▲優秀賞1席の仲宗根久善さんと枝肉

ターの牛（生体重六百三十二kg・等級Bの五・枝肉重量三百八十三kg・kg当たり取引価格二千三百円）が獲得、村内牛が上位を占めた。

関係者は「今回の上位入賞によって本村の肉用牛飼養管理技術の確かさが実証され、広く県内にアピールできた。この技術を確固たるものにして今帰仁銘柄牛づくりを進め、牛肉の自由化にも対応できるようにしよう」と生産農家を激励している。

仲宗根さんは、これまでたびたび出品し、数回にわたって入賞しており、肉用牛関係者の間で「牛キチ」と言われるほど名が知れわたっている研究熱心な方。

「一度でいいから日本の牛を飼育してみたい」と笑いながら話す。常時七・八頭ほどの牛の飼育と野菜づくりに取り組んでいる。

種畜の改良増殖と飼養管理技術の向上ならびに畜産経営の効率化を図り、足腰の強い経営基盤を築こうとのねらいで開かれた「第十四回沖縄県畜産共進会枝肉部門」において仲宗根久善さん（字謝名三五六・五十五歳）の飼育牛（生体重六百八十二kg・等級Aの五・枝肉重量四百二十五kg・kg当たり取引単価二千六百円）が優秀賞の第一席に輝いた。

また、優秀賞第二席は上間進さん（平敷六〇五一・四十歳）が管理している村農協肥育セン

# 13頭が優秀賞に牛・豚79頭が出品

## 第17回村家畜共進会



▲審査講評に聞き入る農家の方々

村と農協の共催による「第十七回今帰仁村家畜共進会」が十月五日、村家畜セリ市場で開かれ、手塩にかけて育てられた牛五十九頭、豚十三頭が出品された。

共進会は、畜産振興を目的に毎年開かれていたもので、各部門ごとに審査され、牛や豚十三頭が優秀賞に選ばれ、十一月八日に行われる北部地区家畜共進会に出展されることが決まった。部門別の優秀賞は次のとおり



同二類一類 仲本達美

同二類一類 仲本達美

### ご案内

村では昭和六十四年度の成人式を一月四日午後一時から村コミニティセンターで行います。今年度の対象者は昭和四十三年一月十六日から昭和四十四年一月十五日までに生まれた方々です。なお村出身者で村外に居住しているが、本村の成人式に参加希望の方は、教育委員会（電話〇九八〇一五六・二六四五）に十一月三十日までに申し込んで下さい。

種目別順位と記録

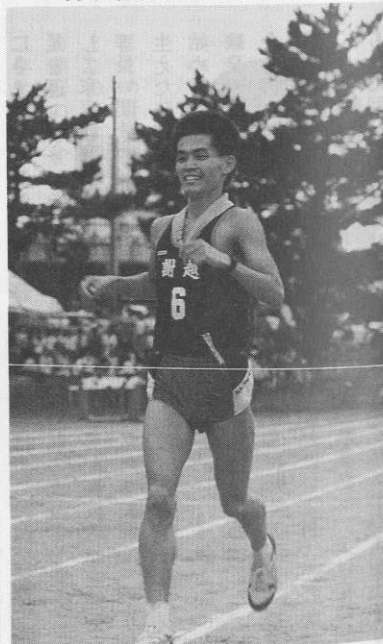
(ゴジックは新記録)

Table with columns for 順位 (Rank), 項目 (Item), 氏名 (Name), and 記録 (Record). It lists results for various track and field events across different age groups (一般男子, 少年, 壮年, 一般女子, 壮年).

順位

Table showing overall rankings (順位) for various teams and individuals, including names like 兼次・諸志 and 志川根泊底.

男子最優秀選手の宮里晃さん



兼次・諸志チームが総合優勝

男子—兼次・諸志 女子—仲宗根に栄冠

第43回 今帰仁村陸上競技大会

選手宣誓をする前年度優勝チームの城間選手



総合優勝旗は兼次・諸志チームへ



女子優勝旗は仲宗根チームへ



村体協主催による「第四十三回村陸上競技大会」が十月九日村宮グラウンドで行われた。当日は、雲り空ですすしいスポーツ日和、午前八時三十分からの開会式に続き一般男子二十種目、女子十二種目、壮年の部十種目に技を競った。熱戦の結果、男子は兼次・諸志チーム、女子は仲宗根チームが制覇した。総合は兼次・諸志チームが優勝を飾った。

大会は四十二種目にわたって熱戦が展開され、男子20km(宮里晃、謝名・越地)とハンマー投げ(真栄田修、天底)・女子やり投げ(宮里優子、謝名・越地)として表彰された。

大会で三氏が表彰

今大会において、長年体協副会長を務めた村のスポーツ振興に努めた山内昌雄氏(仲尾次三、四)と長年体協主催行事に積極的に協力のあった仲里昭一氏(仲尾次二五〇)と西島光男氏(仲尾次七〇〇)の三氏が功労者として表彰された。

嘉陽ルリ子さん(北部農林高校定時制二年・字湧川三六九)は「第三十回沖縄県高校定時制通信制生徒生活体験発表会」で最優秀賞に輝き、県代表として十一月二十六、二十七日に東京国立教育会館で開かれる第三十六回全国高校定時制通信制生徒生活体験発表大会に出場することになってい

ます。嘉陽さんの体験発表を紹介します。

### 最優秀賞



### 第30回県定通制生徒体験発表会 学ぶことの大切さ

北書定時制二年 嘉陽ルリ子

おもえば、今から十六年も前のことです。高校三年生、大学受験という大切な時期ではありましたが、私は高校を中退して現在の夫と結婚生活のスタートをきりました。

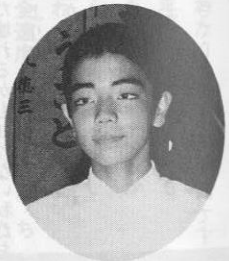
彼の情熱に引かれ、「一度しかない人生だが、この人となら絶対に後悔しない。学業よりもっと尊いものがあるはずだ、学業はまたいつか続けることができる」とそんな覚悟と約束に、将来を託した出発でした。

彼二十一歳、私十八歳。初めの頃は、周囲の「好奇の目にさらされ」ながら、四世代同居の十人家族の中で、私は家事、育児、農作業と忙しく動き回っていました。

張りつめた中にも、心地よい

充実感を味わっていたのを今も忘れません。もう少し、時間的にゆとりができたなら、学校のことも考えてみよう。「定時制」があるのだ、とも思いました。

### の会 少年の村 中学校生活をふり返って



光陰矢のごとし、という言葉

十六年ぶりに手にする教科書はずつしりと重く、白いボールを追いかける背中に「嘉陽さん頑張った」の言葉に感激の涙を何度流したことでしよう。

入学してまだ半年ですが、今の私なら何でもできるような気がします。子供たちも頑張っています。そんなわが子に励まされ、わが家は三人四脚で、ゴールを目指して頑張っています。

「月日の過ぎるのは、飛ぶ矢のように早いということわざだけど、目標を持たないで反省もしないで、ただ何となく日々をすごしてしまうと、あつという間に中学の三年間は、終わってしまうよ。時間を大切にすることが、中学時代を大切に思う心だよ」と言われました。

僕は、心の中で先生のおっしゃった言葉をくり返しながら思ったのです。「光陰矢のごとし」。古い古い先生はせっかちなあ、余裕、余裕、まだ二年の一学期じゃないか。そんな考えです。もちろん生活態度も変えず、勉強も一応やっているから、なんとかなるさ。部活動も人並みに練習しているから、どうつ

と歌った憧れの心が思い出され、お金儲けは、いつでもできる。しかし、子供と一緒に汗を流し、過ごせる時間は、決して金で買うことはできないのだ。勤めを辞めてからの生活は、これまでとはがらりと変わりました。母親も私のこれまでの労をねぎらいつつ、自分の若いころの婦人会活動の体験を語り、「ルリ子も若いうちに出来ることは何にでも挑戦しなさい。二度とない人生なんだから」と地域

「学習は実践につながり、実践は学習を支えられる。」私は、こうした親の生きざまを通して子供達に学ぶことのバックボーンを見つけてほしいと思います。

学ぶことは一生懸命生きることであり、打ち上げ花火ではないはず。いつまでもいつまでも、種火を絶やさず子供とともに、燃える親でありたいと思います。

光陰矢のごとし、という言葉最近よく思い出します。二年生のとき、道徳の時間に、先生からおそわった言葉です。無計画な僕達の生活を注意するため、この言葉の意味を、先生は説明して下さいました。

「銀も 金も玉も 何せむにまされる宝 子にしかめやも」

「やろう！」 もはやこれは、希望というよりも私の決心でした。長男が高校入試を控えた時です。私たち夫婦は、やり残した学校教育をもう一度スタートさせるために、子供といっしょに受験勉強を始めました。そして今年の四月、農業高校で学びたいと言った長男は、全日の農業科へ、夫は定時制一年、私は二年への編入が決まり、親

第8次漁業センサスのお知らせ
農林水産省では、来る11月1日現在で第8次漁業センサスを実施します。この調査は「漁業に関する国勢調査」ともいべきもので、我が国の漁業の実態を明らかにし、今後の水産行政に役立てる重要な調査です。漁業関係者皆様方のご理解とご協力をお願いします。企画財政課企画係

# 保健婦室だより

お気軽にご相談を!

## 地域ぐるみの心の健康

### こころの病気

現代社会においては、こころの不健康を訴える人が多くなっています。また、単純に身体の病気だと考えられていたものも精神的ストレスのため、発病したり、病状を重くしている場合が、多くみられるようになりました。ノイローゼ、うつ病、心身症、アルコール中毒、薬物依存、登校拒否、家庭内暴力、自殺など、いわゆるこころの病気がよく話題になります。それはこころの病気がしばしば身近におこるため、多くの人々が、こころの健康について関心を持つようになったからでしょう。内科外来患者のうち、三人に

一人はノイローゼないし心身症的な患者ともいわれています。

### 心の病気に対して

今まで、こころの病気については、専門家にまかせておくよりしかたがないものと、一般には考えられていました。しかしこころの病気は、ストレス、欲求不満や対人関係のまずさなどまさに社会環境、日常生活の中から生じているので、これからは、健康な社会生活を営むための環境づくり、少々のストレスに負けないたくましさ、こころのゆとり、気分転換など、こころの健康の保持、増進について自分たちで考え、取り組んでいくことが大切です。



### 専門機関を

### じょうずに使おう

こころの病気について、何か困ったときには、できるだけ早

い時期に精神衛生の専門機関に相談しましょう。(こころの病気を回復させる方向づけができるように、いろいろとアドバイスしてくれます)。

### 気軽に電話で相談を受けられます

- ◎こころの電話 (精神衛生センター)
  - ☎〇九八八・五〇一八四八七
  - 午前9〜11時30分
  - 午後1〜4時30分
- ◎名護保健所
  - ☎五二一・二七一一四
  - ☎五六一・四三九七

### 社会復帰のために

保健婦などが、精神病から回復した人を地域社会の中で、支えるよう援助していますが、多くの精神障害の人は、職場を失っており、経済的自立をはかれないでいます。病気を隠さないで、気楽に働ける職場を求めています。

### 精神障害の人に あたたかい手を

**心あるあなたへ**

あなたは心の病んでいる者の涙をご存知でしょうか  
ふたたび人間の心をと戻してもいい知れぬ涙を  
そっと流しているのです  
この社会で「キチガイ」という烙印を捺されてしまうと就職も結婚も思うように行かないのです  
あなたは心の病んでいる者の涙をご存知でしょうか  
いつまた壊れるかも知れない私たちは不自由な生活をよぎなくされ  
あなたよりもはるかに不安な人生を辿り  
あなたよりもはるかに己を小さくして生きているのです

あなたは心の病んでいる者の涙をご存知でしょうか  
いいえ あなたから同情を頂こうというつもりではないのです  
私がお願したいことはあなたの隣で生活させて頂きたいのです  
時には目障りに思えたりうさんな者に映ることもあるでしょう  
でも けっして「キチガイ」扱いなどなさらないで下さい  
あなたは心の病んでいる者の涙をご存知でしょうか

「ぜんかれん」より

**精神保健普及月間運動**  
11月1日〜30日  
みんなの力で育てよう心の健康

# 石川市在住 今帰仁郷友会 20周年記念祝賀会

(記念誌を発刊)



▲ みごとな創作舞踊を踊るみなさん

## 交通安全の村宣言

### 村民総決起大会

### 事故のない「平和な文化村」に!

### 約八百人が参加

「今帰仁村交通安全の村宣言」村民総決起大会が秋の交通安全運動期間中の九月二十七日午後四時から村コミュニティセンタールームで開かれた。小学生からお年寄りまで約八百人の村民が参加した総決起大会で上間博安村長は「今年の村内の交通死亡事故はゼロだが、県内では多発傾向にある。交通事故のないというおいと安らぎの

ある村づくりのため全村民が一致協力して運動を展開しよう」とあいさつ。山城正村議会総務委員長の経過報告のあと、三島義定本部長、警察署長、座間味栄金本部地区交通安全協会会長、久高弘沖縄県警交通部長もあいさつ、交通安全を訴えた。このあとの、各団体代表の意見、決意表明で城間優子さん(天

小六年)、島袋良くん(兼中三年)、山川美智子さん(北山高三年)、宮里晃さん(青年代表)、石嶺リエ子さん(婦人代表)、宮里政新さん(老人会代表)の六人がそれぞれの立場で事故の悲惨さと交通安全を喚起した。引きつづき、我々は「平和文化村」にふさわしい道路交通が安全でかつ、快適な「交通安全の村」建設のため、歩行者として、自転車利用者として、それぞれ立場を尊重し、安全に行動する良き社会人として、すすんで次のことを守ることを宣言します。と参加者全員で朗読し、「交通安全の村」を宣言した。1わたくしたちは、交通信号を守り、横断歩道をわたりま

- 2わたくしたちは、「お年寄り」や「子どもたち」を交通事故から守ります。
- 3わたくしたちは、安全速度を守り、暴走行為はしません。
- 4わたくしたちは、飲酒運転は絶対にしません。
- 5わたくしたちは、他人に迷惑になる違法駐車をなくし、道路を広く正しく使います。
- 6わたくしたちは、交通ルールとマナーを正しく守ります。

### ▼ 交通安全を宣言する参加者たち



石川市在住の村出身者で構成する「今帰仁郷友会」(新城紀秀会長)の「二十周年祝賀会」が十月十六日午後四時から石川市社会福祉センターで行われた。祝賀会は、会員の親睦と会の発展をはかるというもので、約二百九十人の会員のうち、二百人が出席。地元石川市や那覇近郊の北山郷友会、そして郷里今帰仁からも助役、収入役、教育長、議長、議員など多数の来賓が参加した。祝賀会で新城会長は「今帰仁と石川は歴史的にも深いつなが

りがある。今帰仁郷友会会員は、石川市の皆様のあたたかい包容力と郷里今帰仁のバックアップによって、石川の地にながら根をおろし、各方面で頑張っている。郷友会の二十歳の成人式を節目としますます発展向上させよう」と力強くあいさつ。ひきつづき、これまで郷友会活動に功労のあった九名の方々の表彰を行い労をねぎらった。また激励にかけつけた伊集一隆助役(上間博安村長代理)も皆さんの各界での活躍は郷里の誇りです。村人のきずなで会が

一層発展することを期待します」とあいさつ。そのほか多数の来賓祝辞が送られた。この日のために、日夜けいこに励んできた会員による「喜劇(福徳屋)」、「八重瀬の万才」、「創作舞踊(今帰仁の城)」、「具志堅小唄」(九年母木節)、「国頭サバクイ」(初春の遊び)など奇抜な芸が披露されると、会場からは割れんばかりの拍手が送られ、「ワジャムチャンチャヤヤ」の声・声・声。なお出席者全員に二十周年記念誌が贈られ喜ばれた。

